

# 韓流ドラマ撮影隊、津に来る

## ◆韓流ドラマ「赤と黒」

「冬のソナタ」の大ブーム以降、今や韓国ドラマは日本でも人気の高いエンターテイメントとして、多くのファンから支持されている。そんな人気の韓流ドラマの撮影が2月12日から26日まで、岐阜を皮切りに愛知、三重などで行われた。

ドラマのタイトルは国際共同制作ドラマ「赤と黒」(韓国タイトル「悪い男」)。韓国の上B Sでは5月から、日本では来年NHKで放送予定となっている。

この作品は、フランスの小説家スタンダールの「赤と黒」を元に悲惨な運命を持つ男性主人公が美貌と悪魔のような心で富と権力をつかもうとのし上がっていく姿を描く。

主人公のゴンウク役には、韓国で人気急上昇中のキム・ナムギルさん、御曹司テソン役はキム・ジェウクさん、上昇志向の強いジェイン役は女優のハン・ガインさんが出演する。監督は「冬のソナタ」プロデューサーのイ・ヒョンミン氏。

## ◆ココバリゾートクラブ

COCOPA RESORT CLUB(津市白山町川口6262)では、ゴルフコースやテニスコート、コテージ、ホテル玄関前などクラブ内の様々な場所を使い、撮影が行われた。

テニスイーシングの撮影では、テニスラケットのキム・ジェウクさんに対し、キム・ナムギルさんはスリット姿でコートに登場。ふたりは、華麗にスマッシュをきめたり、ラリーを続けるなど運動神経の良さを披露。撮影はスムーズに終了した。またホテルの玄関前では、主演男優ふたりが自動車を使ったシーンを撮影



した。車載カメラを設置し、車内外からカメラを向ける撮影スタップら。緊張感漂う現場で、慎重に撮影は進められた。

同クラブは今回ドラマの撮影場所だけでなく、俳優や撮影スタッフが宿泊先としても利用している。福田正興代表取締役は、「ドラマを通し、日韓問わず、三重県を広くPRする機会になれば」と撮影隊を大きく支援してきた。

キム・キョンジョンプロデューサーは「海外ロケで一番困るのが体調にも大きく影響する食事面。ココバリゾートクラブでは特に食事にも気を配っていただき、快く支援してくださる優しさにも感謝しています」と喜びを語っていた。

## ◆ループル彫刻美術館

ループル彫刻美術館(津市白山町佐田1957)では、2月24日に館内や倉庫を使ってドラマの撮影が行われた。

倉庫を美術大学の一室に見立て、女優のハン・ガインさんが流暢な日本語で会話するシーンを撮影。同館の竹川規清館長やCOCOPA RESORT CLUBの女性従業員4人などもエキストラとして参加し、撮影は進められた。

イ・ヒョンミン監督は「冬のソナタ」のプロデューサーを務め、「ごめん愛してる」や「雪の女王」など数々の感動作を送り出してきた有名なヒットメーカー。俳優の個性を大切に、細か



いところまで配慮した演出力には定評がある。

今回の撮影でも、日本語の発音や演技、照明などを確認しながら熱心に演技指導。エキストラについても「自然な感じで」と指示を出し、こだわりのある演出を披露していた。

ドラマについてイ監督は「人間の欲望や奥深い心理を表現した破格的で原色のラブストーリー。人間の本来持っている二面性を映し描いた激しく熱いドラマをぜひ見ていただきたい」と話した。

ドラマ全20話のうち、第5・6話分が東海3県を中心に撮影したもの。三重県での撮影は第5話に登場予定というだけに今から放送が待ち遠しい。

